

福山、府中市、神辺町の企業退職者でつくる「備後セカンドライフくらぶ」（吉田悦栄会長）が23日、福山市光南町の大島能楽堂を訪れ、日本の伝統文化・能を体験した。

囃子、舞、謡に挑戦

福山で退職者 能の世界に触れる



大島能楽堂で能の世界を体験するメンバー

約六十人が参加。喜多流の大島衣恵さん（左）、妹の文恵さん（右）の指導のもと、「囃子」「舞」「謡」を体験した。

参加者は、鼓などの和楽器に挑戦、音をうまく出すのに一苦労。また、舞の体験では、講師のようにしなやかな動きができず、何度も繰り返すなど、初めて触れる幽玄の世界を堪能していた。

能の歴史や能を演じる際に身に着ける能面、能装束など、能の基本知識の説明もあった。

同市駅家町万能倉、田辺英二さん（左）は「伝統文化という堅苦しいイメージだったが、身近に感じた。貴重な体験ができて満足」と話していた。